

## 一般的な屠蘇散に入っている生薬

桂枝・防風・朮・桔梗・山椒    加味生薬→ 陳皮・紅花・丁字・甘草・茴香

**桂枝**：クスノキ科のニッケイの樹皮です。日本産の桂皮は気味が弱く八橋などのお菓子に使われます。中国南部、ベトナムに自生する桂皮は上質で味も強く、桂通桂皮とか江南桂皮と呼ばれて薬に使われます。内臓の動きをよくして新陳代謝を亢進します。味のよい桂皮は、スリランカでセイロン桂皮の名前で栽培され収穫されています。

**防風**：セリ科のボウフウですが日本には自生していません。日本ではセリ科のハマボウフウ(浜防風)を代用使用してきました。風邪などの邪気をはらって気を巡らせる働きがあります。

**朮**：キク科のオケラの根を使います。邪気を追い払い身体の余計な水分を取ると言われます。

**桔梗**：キキョウ科・キキョウの根です。痰を取り除き咳を止め、化膿をした時に排膿の目的で使用します。

**山椒**：ミカン科・サンショウの実の果皮の部分を薬用にします。お腹を温めて腸の蠕動運動を滑らかにします。昔は虫下しにも使われていました。ウナギを食べる時に振り掛けます。

**陳皮**：ミカンの皮ですが、吐き気を止め消化不良を改善するなど、健胃作用があります。

**紅花**(べにばな)：キク科・ベニバナの花、赤色の染料として色付けに使われますが、服用することで血行を良くし婦人科疾患によく用いられました。

**丁字**：フトモモ科チョウジの花蕾。クローブと言い身体を温めるのに使います。寒い日などホットウイスキーに入れます。

**甘草**：マメ科・カンゾウの根で日本には自生しません。味を調えたり甘みをつけたり解毒や鎮痛に用います。

**茴香**：セリ科のウイキョウの種子。ハーブの世界ではフェネルと呼ばれて味付けに使われています。香りがよくて胃腸の動きをよくしますので、芳香性健胃薬として使われています。